

# ダイアロジックリーディング トレーニング : Before & After

加 藤 映 子

## Dialogic Reading Training: Before & After

Eiko Kato-Otani

### 抄 録

ダイアロジックリーディングと呼ばれる絵本の読み聞かせの指導を、幼稚園の教諭に行い、そのトレーニングでの手法がクラスでの読み聞かせに生かされるのか、どのような変化が教諭と子どもに起こるのかを検証した。ダイアロジックリーディングは、子どもの言語能力及び読み書き能力の基礎を育む「読み聞かせ」として知られている。指導を受けた教諭は、トレーニングで学んでさまざまなテクニックを使って読み聞かせを行うように変化した。また、教諭のさまざまな問いかけに、子どもたちも積極的に絵本の読み聞かせに参加する姿勢を見せた。

**キーワード：**ダイアロジックリーディング、教諭トレーニング、読み書き能力、絵本、  
教諭と園児のやりとり

(2009年10月2日受理)

### Abstract

This study examines the effects and changes of kindergarten teachers who received dialogic training. Dialogic training is known for being a picture book reading approach that is effective in enhancing children's language and preliteracy skills. The teachers utilized different techniques demonstrated in the training while reading picture books with five-year-old children after the training. Children also became more active participants because the teachers encouraged them to interact.

**Key words :** dialogic reading, teacher training, literacy, picture books, teacher child interactions

(Received October 2, 2009)

## 1. はじめに

絵本は、本来、子どものことばの習得を促す宝箱のようなものである。ところが、日本でよく耳にする読み方へのアドバイスは「あれこれ質問せず、子どもと絵本の時間を楽しみましょう」というものが多い。もちろん、子どもと絵本を読むことには、親子の情愛関係を深める効果がある。だが、それだけではなく、子どものことばや表現力を育てる役割も果たしている。そうだとすれば、後者の効果を高める読み聞かせの方法とはどのようなものだろうか。

米国では、1970年代以後、絵本場面における親子のやりとりの研究が進められてきた。この流れの中で、Whitehurst 他(1988)により「ダイアロジックリーディング」(Dialogic Reading)という絵本の読み方が提唱され、この手法に基づく保護者や幼稚園教諭対象のトレーニングの実施を通して、子どもたちの言語への影響が具体的に論じられるようになった。

本研究では、幼稚園の教諭に「ダイアロジックリーディング」の指導を行うことが可能かを試み、また、トレーニング後の教室での「ダイアロジックリーディング」を用いた読み聞かせが、教員及び子どもたちの発話にどのような影響を与えたかを分析した。

## 2. 絵本の読み聞かせと子どもの言語発達

幼児期の絵本の読み聞かせは、義務教育での学びと大きく関係すると指摘されている(Sulzby, 1989; Sulzby & Teale, 1991; Gee, 1996)。また、多くの研究者たちが読み書き能力の発達との関連を強調してきた(Coldfield & Snow, 1984; Ninio, 1980; Dickinson & Snow, 1987; Teale, 1986)。その理由として、子どもと絵本を読む行為が他の養育遊びとは異なり、読み聞かせ時に大人が使う言語は、豊かで洗練され、抽象的であることが挙げられている(Snow, Arlman-Rupp, Hassing, Jobse, Joosten & Vorster, 1976; Hoff-Ginsberg, 1991; Sorsby & Martlew, 1991)。

1970年代以後、絵本場面における親子のやりとりの研究が進められる中で、Whitehurst 他(1994)により Dialogic Reading という絵本の読み方が紹介され、この手法を用いた保護者や幼稚園教諭対象のトレーニングが行われ、子どもたちの言語にどのような影響があったのかという研究発表がなされている。ここでは、ダイアロジックリーディングという絵本の読み方がどのようなものかを紹介していく。

Dialogic Reading で提唱している原則は、以下のような質問ややりとりである(Arnold 他(1994))。

- 1) 「何」質問を尋ねる。このタイプの質問は子どもの語彙を増やす。首をふるだけで答えられるはい／いいえという一般疑問文をさける。
- 2) 子どもが絵本に出てくる物の名前を知っている場合は、それを描写する質問(形、色、部分、動作など)を尋ねる。

- 3) 子どもの発話をリポートし、それが正しいことを示す。
- 4) 子どもの発話を助け、子どもにことばのモデルを示す。
- 5) 「いいこと言ったわね」「その通り」「よくできたね」と子どもをほめ、発話を促す。
- 6) 子どもの興味を反映させる。子どもが興味を示した絵、話そうとしたことをチャンスと捉え、子どもの発話を促すようにする。
- 7) 楽しむ。絵本を読むことがおもしろいと感じさせるように、ただ単に文章を読むのに対し、ゲームのようなやりとりを楽しむ。

このようなダイアロジックリーディングの手法は、子どもの言語能力および読み書き能力の基礎を培う効果的なアプローチであり、基礎的な文字の認識に効果があると検証されている（Whitehurst 他、1994）。また、このダイアロジックリーディングは特に語彙の習得に効果的ともされている（Whitehurst 他、1994）。これは英語のようなアルファベット言語に限らず、中国語（Chow & McBride-Chang, 2003）や韓国語（Lim, 1999）にもあてはまる。

米国において開発されたこのダイアロジックリーディングは、もともと、家庭での親子で絵本を読むため保護者を対象とした指導を行っていたが、幼稚園などの教諭や保育士のトレーニングも実施されるようになった。

これに対して、日本における読み聞かせの研究は、母親がどのように絵本を子どもたちに読むか（Kato-Otani, 2003）や語彙の習得とラベリング（村瀬他、1998）といった内容のものが多い。この理由としては、ダイアロジックリーディングが米国の研究者たちを中心に進められてきたために、手法自体が日本で知られていないことが考えられる。それゆえ、日本における紹介や研究の必要性を強く感じていた。

### 3. 研究の目的

「あれこれ質問せず、子どもと絵本の時間を楽しみましょう」というアドバイスが多い日本において、「ダイアロジックリーディングのトレーニングが可能なのか」、および「トレーニング後に教諭と園児のやりとりにどのような変化が見られるのか」を目的とした。

また、成果の具体的な判断基準としては「トレーニングで指導した手法を教諭が使って読み聞かせを行うことができたのか」、そして「園児が教諭の質問に応え、反応を示すのか」を用いることとした。さらに、「教諭はダイアロジックリーディングをどのように受け止めたのか」をアンケートを通して計ることも目的の1つに据えた。

## 4. 研究方法

### 4.1 参加者

大阪市内の A 市立幼稚園及び B 私立幼稚園の 2 園の教諭全員（A 幼稚園は 3 名、B 幼

園は6名) に対しダイアロジックトレーニングを行った。また、その中から、年長クラスの教員2名と園児44名(A幼稚園23名、B幼稚園21名)が読み聞かせのセッションに参加した。いずれのクラスでも、絵本の読み聞かせは普段から行われている。そして、実際に園児に読み聞かせを行った教員2名に加えて、ダイアロジックリーディングのトレーニングを受けた園のすべての教員にアンケート調査を実施した。

## 4.2 データの収集と分析方法

ダイアロジックリーディングトレーニングの効果を計るため、園児に対する読み聞かせのセッションの分析、およびアンケート調査(付録A及びB参照)を行った。そのアンケートでは、教諭の読み聞かせに対する考えを計るトレーニング前のもの、そして、ダイアロジックリーディングをどのように受け止めたかを計るトレーニング後のもの、の2種類を準備した。

また、園児への読み聞かせのデータ収集方法は、以下の通りである。

ダイアロジックリーディングのトレーニング(内容については4.3に記述)の前と後の状態を比較するため、前後でそれぞれ一度ずつ、教員が子どもたちに絵本を読むセッションをビデオに収録した。このとき、トレーニング前のセッションでは、普段子どもたちに読んでいるように絵本を読むように指示を与え、トレーニング後では、そこで学んだ読み聞かせの方法を可能な限り使うよう指示は行ったものの、強制はしていない。

トレーニング前と後では同じ絵本<sup>1</sup>を選択しており、その中でどのような変化がおこるかを分析している。なお、トレーニング後のセッションもビデオに収録した。

収録されたビデオはテープおこしを行い、CHILDES (MacWhinney, 2000) で分析を行うためにJCHAT<sup>2</sup>でフォーマット化。これらのデータをダイアロジック・リーディングで推奨されている質問ややりとりの形式(上記2参照)に基づいてコード化し、インタラクションの頻度を前と後で分析した。また、どのようなやりとりが行われたのかという質的な分析も行っている。

最終的に、すべてのセッションの終了後、教諭がダイアロジックリーディングをどのようにとらえたかをアンケートを用いて検証した。設定したコードは以下の通りである。

WHQ	何、どこ、どれといった質問
OEQ	絵に答えが存在しない子どもが考えて答える必要のある質問
PRA	子どもの答えやコメントをほめる発話
EXP	子どもの発話を拡張する発話
DEV	子どものコメントや返答を発展させ、子どもの考えを伸ばす発話
REL	子どもの生活と絵本を関連づける発話や質問

<sup>1</sup>A幼稚園では「きんいろあらし」B幼稚園では「もりのどきまぎ」が教諭により選択された。

<sup>2</sup>CHILDESはCHATという方式で言語分析ツールを開発し、JCHATはその日本語版である。

COR	まちがった子どものコメントや返答を訂正する発話
RES	子どもや大人のコメントや返答に対する「そうね」といった発話
SPS	絵の描写や感想といった自発的な発話
YNQ	「はい」か「いいえ」で答えられる質問
BKT	「はじまり、はじまり」「おしまい」といった読み聞かせにまつわる発話

### 4.3 ダイアロジックリーディングトレーニング内容

トレーニング前の教諭<sup>3</sup>の読み聞かせに対する考え方を知るために、「絵本を読む理由は何ですか」というアンケート<sup>4</sup>を実施した。

以下の表1が示すように、多くの教諭が「集中力を養う」、「本好きになるように」、「本の世界を知る」という、本と関わるのが大切であると捉えている。しかし、絵本を読む理由として、語彙や読み書き能力の発達を挙げた教諭は少ない。

表1 教諭アンケート「絵本を読む理由は何ですか」(3つまで回答可)(N=9)

	語彙	読み	想像力	読み書き能力	集中力	情愛	話す力	本好き	楽しむ	世界を知る	名作を知る
A 幼稚園 3名	0	0	0	1	2	0	0	3	2	0	0
B 幼稚園 6名	1	0	6	1	4	1	0	3	4	1	0
合計9名	1	0	6	2	6	1	0	6	6	1	0

アンケート実施後、前述の読み聞かせの効用についての講義を行い、2に記述したダイアロジックリーディングの手法について、実践を交えたワークショップを実施した。すべてのトレーニングは約1時間で終了した。

## 5. 結果と考察

### 5.1 読み聞かせ時の教諭と園児のやりとりの変化

#### 5.1.1 教諭の変化

表2、3は、それぞれの幼稚園の教諭の発話を上記3のダイアロジックリーディングの手法に基づいてコード化し、発話数の変化を記録したものである<sup>5</sup>。それぞれの表が示す通り、トレーニング前と後では、教諭の発話数に大きな変化が見られたことがわかる。

具体的には、トレーニング前の読み聞かせでは、子どもたちに対し絵本の文章を登場人

<sup>3</sup> 園の教諭全員に対するトレーニングのため、A 幼稚園では3名、B 幼稚園では6名の教諭が参加した。

<sup>4</sup> 指定された項目を教諭が複数回答可で記入する方式

<sup>5</sup> それぞれの幼稚園で使用された絵本が違うため、A 幼稚園と B 幼稚園の教諭の発話数の比較は行わない。

物毎に声色を変えるなど工夫をこらして読んでいたものの、子どもに質問する発話はほとんどなかった。それに対しトレーニング後のセッションでは、さまざまな質問をなげかけ、子どもの発話を促す読み聞かせへと変化した。また、A 幼稚園では子どもの発話を拡張し、子どもの考えを引き出す（コードでは DEV）発話が多かった。

**表 2 A 幼稚園教諭の発話数の変化** (N=1)

	WHQ	OEQ	PRA	EXP	DEV	REL	COR	RES	SPS	YNQ	BKT	計
Before	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
After	9	1	17	3	32	4	1	5	1	20	0	93

**表 3 B 幼稚園教諭の発話数の変化** (N=1)

	WHQ	OEQ	PRA	EXP	DEV	REL	COR	RES	SPS	YNQ	BKT	計
Before	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
After	5	2	5	2	4	7	2	1	9	2	1	40

次に、どのようなやりとりがなされたかを質的に見て行くと、例1にみられるような子どもに考えさせる質問が発せられたことが明らかとなった。この質問は、子ども自身の思考力を探る質問である。

例1 A 幼稚園でのやりとり

教諭： 「ちぎれてしまったらどうなると思う？」

子ども A: 「わからない」

子ども B: 「おちちやう？」

教諭： 「おちちやう？」

子ども C: 「池に入る」

教諭： 「お水の中に入ってしまう？」

子ども D: 「水の中におちちやう」

子ども E: 「そいで 亀に 亀のおじいちゃんに助けてもらおう」

子ども F: 「亀に 亀に 助けられる」

この例では、教諭はやなぎの枝にとびついた「せかせかさん」という主人公が、枝から落ちるとどうなるかと質問している。では、なぜこのような質問が読み聞かせで必要なのだろうか。

子どもはいずれ独力で本を読むようになるが、ただ文字を追うだけの読み方では「論語読みの論語知らず」になりかねない。そこで、上記のような質問に答えてやりとりを行う時間を大人と持つことは、子どもが単独で本を読む際の準備となるのだ。つまり、一人で読んでいるときにも、頭の中で、「どうなるんだろう」といった予測をたてて本を読むこ

とが、読解力を培う読み方につながっていく。

一方で、答えにたどり着くまでの過程も重要である。先の例では、最初の子どもが「わからない」と答えた後で、別の子どもの「おちちゃう」、「池に入る」という返答を受けた教諭は、子どもの返答を拡張して「お水の中に入ってしまう？」と返している。これもダイアロジックリーディングで推奨されている手法であり、一語で答えがちな子どもの返答を論理的な文章に変えモデルとして提示すると同時に、「亀に助けられる」という物語の理解につなげる役割を果たしている。

次に示す例2は、子どもの語彙力を問う質問である。まず、ことばの意味を尋ねた教諭に対し、年長児なりに「めっちゃくちゃ前」とことばの説明を行っている。その後で「むかし」ということばが子どもから出てきていることがわかる。

#### 例2 B 幼稚園でのやりとり

教諭： 「2万年も前ってどんな前やろ？」

子ども A: 「めっちゃくちゃ前」

教諭： 「めっちゃくちゃ前？」

子ども B: 「むかし」

同様に、次の例も子どもの語彙力を知ることができる質問である。例3では、炎ということばを口語で使うことは少ないにもかかわらず、炎ということばを子どもが習得していることがわかる。このように、あることばを同じ意味を持つ違うことばに置き換えることも、子どもが習得すべき言語能力といえる。

#### 例3 B 幼稚園でのやりとり

教諭： 「炎って知ってる？」

子ども C: 「火のこと」

教諭： 「そう。火のこと。そうやな。」

さらに、本の世界が現実と切り離されたものでなく、子どもたちの日常生活と関連があることを示してあげるのも大切である。例4では、絵本に出てくる柳の木が黄色く紅葉している描写を受けて、園にある木と絵本に出てくる木が同じ種類の木であり、園の柳はまだ紅葉していないという観察を子どもから引き出した。また、この教諭は、ダイアロジックリーディングで奨励されている「子どもの返答をほめる」という手法も使っている。

#### 例4 A 幼稚園でのやりとり

教諭： 「これが幼稚園にもある木って知ってる？」

子ども A: 「やなぎ」

教諭： 「やなぎ」

子ども B: 「ざりがにの前」

教諭: 「ざりがに池の前にあるやなぎの木の葉っぱってこんな色？」

教諭: 「それともちょっと違ってるかな？」

子ども C: 「緑の色や」

教諭: 「よう見えますね。そうまだ緑色やね」

### 5.1.2 園児の変化

教諭が質問をすれば、それに答えるために子どもが発話するのも当然のことである。コード RES はそのような教諭が質問した時に、子どもが答えた発話数を示している。特筆すべきは、教諭が質問した時以外にも、子どもたちの自発的な発話（SPS とコード化）が増加していることである。

例えば、次のような発話が子どもから発せられた。お姫様がきれいなドレスで登場する絵を見た女の子が「舞踏会みたい」とコメントしたのである。

まず「舞踏会」という通常の会話には出て来ないことばをこの子どもが習得していることが注目される。次に「○○みたい」と自分の知っていることと登場してくるものを比較できる能力も、独力で読むステージに進む際に必要な言語能力といえる。

**表 4 A 幼稚園園児の発話数の変化 (N=23)**

	SPS	RES	計
Before	4	0	4
After	31	77	108

**表 5 B 幼稚園園児の発話数の変化 (N=21)**

	SPS	RES	計
Before	0	0	0
After	13	17	40

## 5.2 教諭のアンケート結果にみるダイアロジックリーディングの効果

トレーニング後の絵本の読み聞かせのセッションが終了した時点で、教諭がワークショップをどのように捉えたかを計るためのアンケートを実施した<sup>6</sup>。

まず、ダイアロジックリーディングという手法が参考になったかというアンケート項目では、教諭全員が参考になったと答えている（表6参照）。

<sup>6</sup> 絵本セッションの対象となったクラス以外の教諭もトレーニングを受けており、アンケートに含まれている。

表6 「ダイアロジック」ワークショップは参考になりましたか。(N=9)

	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
A幼稚園 3名	3	0	0
B幼稚園 6名	6	0	0
合計 9名	9	0	0

次に、どのような点が参考になったかを自由に記入してもらった項目では、「子どもたちが絵本に興味を持てる。例えば、質問に答えたり、教諭のことばがけにより、日常生活などに結びつく。」というようにダイアロジックリーディングが薦めている手法を理解してもらったことが伺える。

また、子どものことばの発達という面でも、次のように肯定的にとらえられていることがわかった。「子どもたちに問いかけたり、考えさせたりすることによって、ことば数が増えたり、意味を知ったりできるということを、今まであまり意識していなかったののでみようと思いました。」

同様に、ダイアロジックリーディングをクラスで試してみようという項目からも、ダイアロジックリーディングが肯定的に捉えられたことが伺える（表7参照）。

表7 ダイアロジックリーディングを試してみようと思いますか。(N=9)

	はい	いいえ	わからない
A幼稚園 3名	3	0	0
B幼稚園 6名	5	0	1
合計 9名	8	0	1

今回の研究ではビデオ収録による発話分析の対象は、それぞれの園の年長児の1クラスであったが、違うクラスでダイアロジックリーディングを試した教諭7名の感想は、表8のような結果となった。

表8 ダイアロジックリーディングを試された教諭の感想（複数回答可）(N=7)

	A幼稚園 3名	B幼稚園 4名	合計 7名
楽しく読めた	0	3	3
理解語彙のチェックができた	3	3	6
子供が積極的だった	3	2	5
質問を考えるのはむずかしい	1	0	1
質問せずに絵本を楽しみたい	1	1	2

本研究の第1の目的は、ダイアロジックリーディングのトレーニングは可能かということであった。この目的に対し、トレーニング前と後を検証した結果、トレーニングで奨励した絵本の読み方が実践されたことが明らかとなった。また、教諭のアンケートからも、ダイアロジックリーディングが肯定的に捉えられたことが判明した。

第2の目的であった教諭と園児にどのような変化が起こるかについては、発話数とやりとりの質が大きく変化していた。教諭が質問をすることにより、子どもがどのように絵本を理解しているのか、知識を持っているのか、語彙を持っているのかを確認できたのである。加えて、教諭とのやりとりによって、子ども自身も絵本に対して自由にコメントし、参加するという変化が生まれた。繰り返すが、このような形での絵本の読み聞かせは、子どもが独力で本を読むようになった時に必要とされる言語能力を育むものである。

## 6. 今後の課題

本研究の結果、ダイアロジックリーディングはトレーニングが可能であり、教諭も比較的スムーズにその手法を用いることができたかと判断できる。今後の課題としては、Chow他(2008)が香港の幼稚園で行ったようなダイアロジックトレーニングを受けた子どもたちと、受けていない子どもたちとの言語能力の差を検証するような長期的な調査研究を実施することが重要であると考えている。

### 引用文献

- Arnold, D.H., Lonigan, C.J., Whitehurst, G.J. & Epstein, J.N. (1994). Accelerating language development through picture book reading: Replication and extension to a videotape training format. *Journal of Educational Psychology*, 86 (2), 235-243.
- Chow, B.W.Y. & McBride-Chang, C. (2003). Promoting language and literacy development through parent-child reading in Hong Kong preschools. *Early Education and Development*, 14 (2), 233-248.
- Chow, B.W.Y., McBride-Chang, Cheung, H., Chow, C.S.-L. (2008). Dialogic reading and morphology training in Chinese children: Effects on language and literacy. *Developmental Psychology*, 44 (1), 233-244.
- Dickinson, D. K. & Snow, C. E. (1987). Interrelationships among prereading and oral language skills in kindergartners from two social classes. *Early Childhood Research Quarterly*, 2, 1-25.
- Goldfield, B. A. and Snow, C. E. (1984). Reading books with children: The mechanics of parental influence on children's reading achievement. In J. Flood (Ed.), *Promoting reading comprehension*. Newark, DE: International Reading Association.
- Gee, P.J. (1996). *Social linguistics and literacies: Ideology in discourses*. Bristol, PA: Taylor & Francis.
- Hoff-Ginsberg, E. (1991). Mother-child conversation in different social classes and communicative settings. *Child Development*, 62, 782-796.
- Kato-Otani, E. (2003). *Mother child interactions during book reading and maternal beliefs about book reading*. Unpublished doctoral dissertation. Harvard Graduate School of Education Gutman Library.
- MacWhinney, B. (2000). *The CHILDES project: computational tools for analyzing talk* (2nd ed.). Hilldale, NJ: Erlbaum.
- 村瀬俊樹、マユアキ、小椋 たみ子、山下 由紀恵、Philip S Dale (1998) 「絵本場面における母子会話: ラベリングに関する発話連鎖の分析」『発達心理学研究』9 (2)、142-154
- Lim, Y.S. (1999). *Facilitating young Korean children's language development through parent training picture book interaction*. Unpublished doctoral dissertation, University of Washington, Seattle.

- Ninio, A. (1980). Picture-book in mother-infant dyads belonging to two subgroups in Israel. *Child Development*, 51, 587-589.
- Snow, C. E., Arlman-Rupp, A., Hassing, Y, Joosten, J. & Vorster, J. (1976). Mothers' speech in three social classes. *Journal of Psycholinguistic Research*, 5, 1-20.
- Sorsby, A., J. & Martlew, M. (1991). Representational demands in mothers' talk to preschool children in two contexts: picture book reading and a modeling task. *Journal of Child Language*, 18, 373-395.
- Sulzby, E. & Teale, W. (1991). Emergent literacy. In M.L.K.R. Barr, P. Mosenthal., & Pearson, P.D. (Eds), *Handbook of reading research* (pp.727-757). New York: Longman.
- Sulzby, E. (1989). Assessment of writing and of children's language while writing. In L. Morrow & J. Smith (Eds). *The role of assessment and measurement in early literacy instruction* (pp.83-109). Englewood Cliffs, NJ: Prentice-Hall.
- Teale, W. H. (1986). Home background and young children's literacy development. In W. H. Teale and E. Sulzby (Eds.), *Emergent literacy: Writing and reading* (pp.173-206). Norwood, NJ: Ablex.,.
- Whitehurst, G.J., Falco, F.L., Lonigan, C.J., Fischel, J.E., DeBaryshe, B.D., Valdez-Menchaca, M.C, and Caufield, M. (1988). Accelerating language development through picture book reading. *Developmental Psychology*, 24 (4), 552-559.
- Whitehurst, G.J., Arnold, J.F, Epstein, N., Angell, A.L., Smith, M., and Fischel, J.E. (1994). A picture book reading intervention in day care and home for children from low-income families. *Developmental Psychology*, 30 (5), 679-689.

## 付録 A

### ダイアロジックリーディングトレーニング前 読み聞かせについてのアンケート

- 読み聞かせをされる頻度の該当するものを選んでください。  
 1日に2、3回程度                     1日に1回程度  
 1週間に1回程度                     1ヶ月に1回程度  
 その他 (                    )
- どのような絵本を読みますか？ 該当する分野をすべて選んでください。  
 おとぎ話 (例：みにくいあひるの子、眠れぬ森の美女)  
 ひらがなの本                     数の本  
 テレビや映画の絵本 (例：トトロ、ポケモン)  
 名作童話 (e.g. アルプスの少女ハイジ)  
 創作童話 (e.g. ぐりとぐら)  昔ばなし (例：ももたろう)  
 車、怪獣等についての情報を載せた絵本  
 その他 \_\_\_\_\_
- 絵本を読む大切な理由を3つ選び、該当する項目に○をつけてください  
 語彙の増加                     読む能力をつける準備  
 想像力                     読み・書き能力の発達  
 集中力                     情愛関係  
 話す力の発達                     本を好きになってもらう  
 名作を知っておくべきである  
 世界に関して興味をもつ                     本の世界を楽しむ
- 子どもが幼稚園で学ぶことの中で大切な3つの項目をあげてください。1番大切なものから順番にお書きください。  
1. \_\_\_\_\_  
2. \_\_\_\_\_  
3. \_\_\_\_\_

## 付録 B

### ダイアロジックリーディングトレーニング後 ダイアロジックリーディングについてのアンケート

1. 「子どものことばを育てる読み聞かせ」ダイアロジックリーディングは参考になりましたか？

あった                      あまりなかった                      なかった

「あった」の方はどんな点が参考になりましたか？

---

---

2. ダイアロジックリーディングを試してみようと思いますか？

はい                      いいえ                      わからない

2b. ダイアロジックリーディングを試された先生は、該当する項目に○をつけてください  
(複数解答可)。

- (       ) 絵本が楽しく読めた
- (       ) 子どもの理解や語彙をチェックできた
- (       ) 子どもが積極だった
- (       ) どのような質問をしてよいかむずかしい
- (       ) 質問などせず絵本そのものを楽しみたい

